アースドリル工法

大口径・高深度削孔に最強の力を発揮。

アースドリル工法は、杭の築造にあたり、孔壁の保護は表層ケーシングチューブを用い、ベントナイトを主体とした安定液で保護し、ドリリングバケットで削孔し土砂を排出する工法です。

- 仮設が簡単で、杭径は100m/m単位で設定できる。
- 低騒音・低振動で周辺環境への影響がない。
- バケットによる1回の土砂排出量が大きいので削孔速度が非常に速くできる。
- 敷地境界から杭までの施工必要距離が小さい。

アースドリル工法の流れ

杭芯セット

一次掘削

ケーシング建込み

二次掘削

一次孔底処理（底ザラエ）

鉄筋籠建込み

トレミー管建込み

二次孔底処理（ポンプリフト）

生コン打設

トレミー管引抜き

ケーシング引抜き

生コン打設完了